労働災害が急増しています！

死亡災害

全業種
7名

前年３名から
4名増加

【３月】建設業１名　【５月】建設業２名・道路貨物運送業１名
【６月】建設業１名　【10月】製造業１名・林業１名

死傷災害

全業種
540名

前年451名から
89名増加

令和８年９月末現在　前年同期比 120%

1名あたり平均休業見込み 37.3日。災害の増加は、人手不足をさらに深刻にします。

特に増えている３業種

この３業種だけで、全体の増加89件の６割超を占めます

1	社会福祉施設	81名	＋29名（前年比 155%）
2	建設業	71名	＋15名（前年比 126%）
3	道路貨物運送業	44名	＋10名（前年比 129%）

業種別にみる「多発する事故の型」

社会福祉施設

81名 発生

転倒 34名
動作の反動・無理な動作 26名



2類型で全体の約3/4

建設業

71名 発生

墜落 28名
転倒 12名



2類型で半数以上

道路貨物運送業

44名 発生

墜落 16名
動作の反動・無理な動作 7名



激突 6名にも注意

年末は業務量・非定常作業等が増え、冬季は凍結・降雪・日没の早まりが重なります

いま必要なのは「全員参加」のリスクアセスメント

危険を見つける → 優先順位を決める → 設備・作業方法を改善する → 効果を確認する

まず今日、職場巡視と危険箇所の見える化を

島根労働局　松江・出雲・浜田・益田労働基準監督署

【R8.10】

10月から12月は「急ぐ・暗い・滑る」に要注意

労働災害をこれ以上発生させない。年末まで、基本動作をもう一度確認。



原因と対策―5つの重点

① 焦り・作業量増加	無理な工程を見直す。朝礼で当日の変更点・危険作業・応援者の役割を共有。
② 転倒、腰痛の防止	床の水濡れ・障害物を除去。無理な姿勢や一人作業は避けて器具等を使用。照明を確保。危険箇所を見える化。
③ 荷役・脚立での墜落、転落	荷台・ステップは三点支持。脚立は天板作業禁止、開き止めを確実にロック。
④ 大掃除・点検等の非定常作業	機械を停止し、電源遮断・施錠・表示。安全装置とカバーは作業後に復旧。
⑤ 冬道・夕暮れの交通事故	気象・道路情報を確認。冬用タイヤを早めに装着し、速度と車間に余裕を持つ。